

令和7年度事業計画

1 令和7年度事業の基本方針について

令和7年度からのデスティネーションキャンペーンの実施に併せ、本協会の主眼である「県物産」の紹介、宣伝、あっせん等について、更なる事業活動の展開と、品質の向上と新商品の開発を推進し、「県物産」のPRと販路拡大に取り組むこととする。

このため、定款で定める3事業を展開し、県物産の一層の振興を図っていく。

●定款に定める3事業の展開

◆物産展等開催事業

山口県物産の県内外での展示販売を通じて認知度を高めていくとともに、ウェブサイト（新ECサイト）を活用して商品掲載・販売を行い、県物産の一層の販路拡大・開拓を図る。

◆情報収集・提供事業

県物産に係る様々な情報収集や分析を行い、農林水産関係機関との連携も深め、的確な情報の発信・提供に努めるとともに、県外の有力（百貨店等）バイヤーの関係者招聘による商談や懇談を行う。

◆即売事業

販売拠点である「おいでませ山口館」を中心に、首都圏や近畿圏など大都市における即売事業を強化し、県物産の魅力発信と認知度の向上を図る。

2 令和7年度事業の概要について

令和6年度からの、「おいでませ山口館」を活用した首都圏関係人口創出事業について、引き続き、都内百貨店及びに繁華街における物産フェアを実施する。

また、県内においても、あらゆる機会を捉え、様々な物産展に出展し、県物産のPRによる認知度の向上や販路拡大に積極的に取り組むこととする。

(1) 物産展等開催事業

県内における本協会主催やその他主催の物産展等について、新規物産展の掘り起こしに努めるなど、積極的な展示即売事業を行うとともに、令和6年度に引き続き、首都圏における百貨店や繁華街での物産展なども実施していく。更には、大阪・関西万博や、大手企業と連携した企業内催事への出展も継続して行うなど、多様な機会を捉えて県物産の販路拡大に努める。

ア 県内外イベント等への出展（別掲実施計画（予定）参照）

① 県外イベント等

○山口県フェア

- 5月 企業内催事（明治安田生命）
- 2月 エコ・ピア（千葉県市川市等）
- 未定 東京の百貨店や繁華街での物産展等

○アンテナショップ（期間限定）

- 2月 大阪阪急梅田駅構内（大阪市）

② 県内イベント等

○やまぐち地産・地消フェア

- 6月5日～8日、及び10月 フジグラン宇部（宇部市）

○まるごと山口コレクション

- 12月 プラグスマーケット下松店（下松市）

○やまぐち名産品フェア

- 1月上旬 おのだサンパーク（山陽小野田市）

イ 農林水産関係機関及び市町との連携

農林水産関係機関とは、従前から物産展や商談会等で連携を図ってきており、「おいでませ山口館」では、季節野菜やフルーツなどを継続的に取り扱うなど農水産物等の販売を進めている。また、定期的実施している「市町フェア」においても、各市町の特徴的な農水産物の品揃えと相まって、山口県物産は、これまで以上に注目されるものと考えている。今後とも、この協力関係をより進め、首都圏など大都市でのPRと販売を一層進めていく。

- 物産展等における幅広い農林水産物の出展、品揃え
- 6次・農商工連携の新たな商材の発掘・販売

ウ ウェブサイトの活用

物産展等による対面販売を展開する中、ウェブサイト（ECサイト）によるネット販売も重要なツールであり、ECサイトの役割は、益々大きいものと考えている。

このため、令和6年度から、ECサイトとおいでませ山口館を連携させる、「おんらいん やまぐち館」（仮称）の構築事業を進めており、アプリの構築によるポイント連携を可能とするなど、利便性の向上と機能の充実が図られた新しいECサイトの展開により、更なる県物産のPRや販路拡大に取り組んでいく。

(2) 情報収集・提供事業

県内外における物産・観光展各種イベントなどの関係情報について、的確に事業者へ発信・提供するとともに、「やまぐちの農林水産物需要拡大会議」等と積極的に連携を深め、県物産のPRと需要拡大に繋げる。

ア 商談会等

東京や大阪など大都市圏での販路拡大や、県物産の魅力向上や新商品の開発に繋がるよう、県外の有力（百貨店）バイヤーや、おいでませ山口館館長による商談を、随時実施していく。

イ 協会ホームページのリニューアルとカタログ配付による県物産の紹介

令和6年度、協会ホームページをリニューアルしたことから、今後、協会が展開する活動をよりわかりやすく発信するとともに、引き続き、カタログ冊子を配布するなど一層の情報発信に努める。

(3) 即売事業（おいでませ山口館）

おいでませ山口館の館内催事では、独自企画による断続的な各種イベントや市町フェアの開催、また、かねてより構想のあった「メーカー」様単一の催事も実施した。

また、館外催事では、防長倶楽部総会やレノファ戦など従来からの出展に加え、参議院会館への出展や山口県との連携協定に基づく企業内催事、都内繁華街における屋外でのフェアも行うなど、昨年度の売上を上回る見通しとなった。

令和7年度においても、引き続き、館内催事の充実と市町フェアを行うとともに、館外催事についても継続した物産展などを展開し、売上の増加を図っていく。

なお、おいでませ山口館は即売事業の中核拠点であるとともに、観光や移住も含めた幅広い交流拠点でもあり、関係人口の創出に向け、首都圏で本県に興味を抱く層の、新たな掘り起こしの役割も担っている。

このため、おいでませ山口館では、一層の集客拡大と販売促進に資するため、ホームページのリニューアルと同時にアプリ事業の構築をECサイトと連携して進めており、本年夏から本格運用を開始する。

更には、フェイスブックやインスタグラムなどSNSの活用を一段と高めるとともに、効率的な運営と魅力的な売り場づくりを進め、引き続き、県物産のPRと販路拡大に取り組んでいく。

「おいでませ山口館」の来館者数等の実績

● 令和6年度・5年度・4年度の来館者数及び売上額（2月末現在）

（単位：来館者数(人) 売上額(千円)）

令和6年度		令和5年度		令和4年度	
来館者数	売上額	来館者数	売上額	来館者数	売上額
202,482	141,963	198,561	136,522	195,714	130,648

● 令和6年度 来館者数・売上額の前年度・前々年度対比（2月末現在）

（単位：%）

令和6年度対比		令和5年度対比	
来館者数	売上額	来館者数	売上額
103.0	104.0	101.5	104.5

3 協会会員の加入促進

定款に定める協会の活動の目的を達成するためには、現会員の物産を紹介し販路拡大を図ることはもちろんであるが、新たな会員の加入に努め、商材の発掘や開発を一層促進する必要がある。

物産展への出展や「おいでませ山口館」への販売を契機に、会員加入の一層の促進を図っていく。

【会員数の推移】

(令和7年3月10日現在)

年度	菓子	水産	農産	民芸	その他	特別会員	合計
26	51	87	94	23	8	20	283
27	56	90	101	24	8	20	299
28	61	96	107	24	8	21	317
29	62	91	114	27	12	21	327
30	59	90	116	28	12	21	326
元	56	89	112	29	13	21	320
2	49	83	101	23	11	21	288
3	48	83	99	26	13	21	290
4	45	80	99	26	13	20	283
5	46	79	101	26	15	20	287
6	44	79	108	26	16	20	293